

主催：(公財) 福島県国際交流協会 後援：福島県教育委員会

## 外国人児童生徒等関係者会議

日本語や学校習慣が違う『特別』な外国人児童生徒等の支援には、どのような『特別』な配慮が必要なのでしょうか？

日常会話ができるのに、なぜ教科学習となると困難になるのでしょうか？

様々な外国人児童生徒の『特別』に関わる課題共有や意見交換を行う関係者会議です。

日時 **7月31日(水)13時～16時**

会場 **福島県国際交流協会** (福島市舟場町 2-1)

対象 **教育関係者及び支援者 25名** (定員になり次第締切)

講師 **中川祐治 氏**

(福島大学人間発達文化学類准教授)

専門は、日本語学、日本語教育学。最近の主な研究テーマは、外国人児童生徒等教育を担う教員・支援員の資質・能力に関する調査や資質能力の育成。フィールドワークとして、現在、福島市内の外国にルーツを持つ子どもたちの日本語支援活動に関わっている。



### プログラム

- 1 帰国・外国籍児童生徒等の状況報告(福島県教育委員会)
- 2 事例報告 (伊達市立月舘中学校)
- 3 講演
- 4 情報・意見交換会

#### 問い合わせ先&申込先

氏名、所属先、連絡先電話番号・E-mail を記載の上、下記宛ファックスまたはメールでお申込みください。(締め切り日:7月26日)

(公財)福島県国際交流協会 TEL 024-524-1315 FAX 024-521-8308

E-mail [info@worldvillage.org](mailto:info@worldvillage.org)

外国人児童生徒の生活言語から学習言語へ  
支援における『特別』について考える